

ココロ踊る！山麓生活のススメ(第19回)

物置小屋づくりと父(後編)

2022.10.20

盛夏に父が始めた物置小屋づくり。初めは見守るだけだった私も、ついに仕事の手を止めて、父の作業を手伝うことにした。父との共同作業は意外にも充実したひとときとなり、家族にも楽しい作業となった。



休日は夫も小屋づくりに参加。熱中して垂木を固定する際に父も目を細める

父との作業を楽しむ

父の作業を手伝おうと思って、長靴をはき、腕まくりをして庭に飛び出した私。やる気は満々だけどDIYの経験がほとんどないので、一体何をやったらよいのやら、さっぱり分からない。初めは言われるままに柱を支えてみたり、道具を手渡したりするぐらいしかできなかった。

それでも数時間一緒に作業をしていくうちに父の作業を先読みできるようになり、指示される前に電動ドライバーを用意したり、木材の長さを測って印をつけたりと、自分から動けるようになってきた。

共同作業を始めた次の日、「電動ドライバーでビス留めをしてくれるか」と父に言われて挑戦。「くぎは失敗したときに抜くのが大変だけれど、ビス留めなら簡単にやり直しができるから、思いきってやってみよう」と父は言う。

ビス留めぐらい簡単にできるだろうと思ったけれど、やってみるとけっこう難しい。ドライバーが空回りしたり、ビスが斜めに入ったりして、私が苦勞しているのを見ては、父がおかしそうに笑う。工具が思うように使えなくて、自分でも笑ってしまう。私が加わったことで、逆に足を引っ張っているかもしれないけれど、父も楽しそうなのがうれしかった。

こうやって父と共同で作業をするなんて、中学の工作課題を手伝ってもらったとき以来かもしれない。八ヶ岳山麓に来なかつたら、父とDIYをする機会はなかつただろう。それに気付いたとき、ここに越してきて本当によかったと思った。

辻つま合わせに苦勞… 続きを読む